

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号	26	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
------	----	-----	------------------

事業名	男女平等に向けた意識啓発講座		
所属名	子ども家庭部 児童女性課 女性センター	電話番号	(03) 5676-2455 (直通)

事業の目的・課題	事業の目的及び概要			
	男女共同参画社会の推進は江戸川区の21世紀の重要施策の1つです。この理念を実効性のあるものとするため、参画しやすい講座を実施し、区民の男女平等に関する意識啓発を図ります。			
	<table border="1"> <tr> <td>事業の開始年度</td> <td>平成11年度</td> </tr> <tr> <td>現在の課題</td> <td> ① 日常生活の中での男女平等に関する多様な問題に取り組む講座の実施 ② 受講後、参加者が自ら意識啓発に努め、あらゆる場で個人としての能力を十分に発揮して生きることが求められています。 </td> </tr> </table>	事業の開始年度	平成11年度	現在の課題
事業の開始年度	平成11年度			
現在の課題	① 日常生活の中での男女平等に関する多様な問題に取り組む講座の実施 ② 受講後、参加者が自ら意識啓発に努め、あらゆる場で個人としての能力を十分に発揮して生きることが求められています。			

対象	事業の対象者と動向	<input checked="" type="checkbox"/> 区民全体 <input type="checkbox"/> 対象年齢あり ()										
	[区人口・各年4月1日現在]	<input type="checkbox"/> 対象条件 ()										
	<table border="1"> <tr> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>対象の傾向</th> </tr> <tr> <td>640,389人</td> <td>646,974人</td> <td>653,743人</td> <td>657,767人</td> <td></td> <td>↗ 増加傾向</td> </tr> </table>	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向	640,389人	646,974人	653,743人	657,767人	
14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向							
640,389人	646,974人	653,743人	657,767人		↗ 増加傾向							

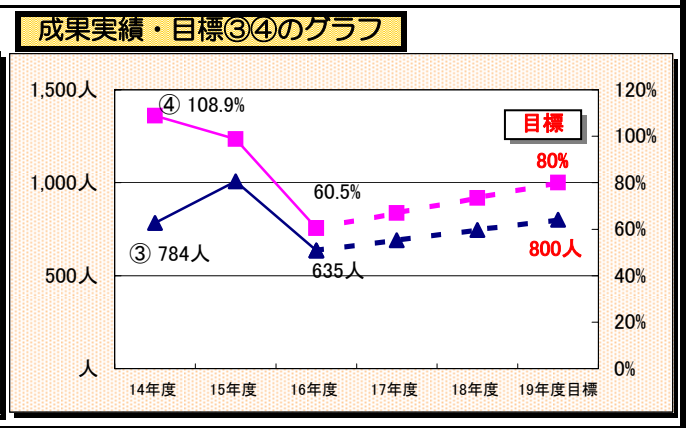
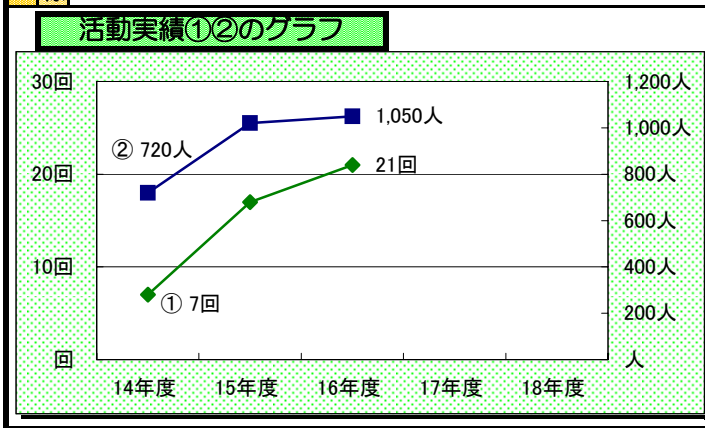
備考： 参加できる方は、区内に住所を有する方、区内の事業所に勤務する方、区内の学校に在学する方

活動状況	活動指標	活動指標名	活動指標の説明
	①	意識啓発講座回数	1年間の実施講座延べ回数
	②	意識啓発講座募集人数	1年間の実施講座募集定員延べ人数

活動実績		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
	①	7回	17回	21回	回	回
	②	720人	1,020人	1,050人	人	人

成果指標		成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
	③	意識啓発講座参加人数	1年間の実施講座参加延べ人数
	④	意識啓発講座参加率	募集定員延べ人数 ÷ 参加延べ人数

成果実績・目標		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
	③	784人	1,008人	635人	人	人	800人	講座の性格上参加者数が目的達成度とはならないが、16年度の成果実績をベースに段階的に目標値を設定。
	④	108.9%	98.8%	60.5%	0.0%	0.0%	80.0%	



事業名 男女平等に向けた意識啓発講座

実施の根拠となる法令等

江戸川区女性センター運営要綱
江戸川区女性センター処務規程

民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし あり

委託等の内容（ ）

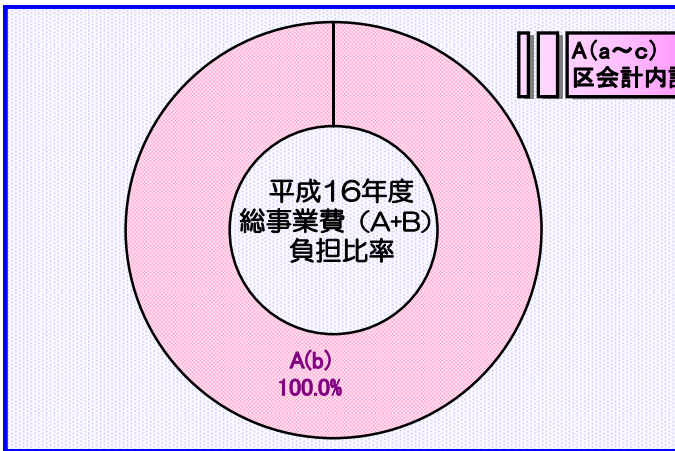
対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	女性センター相談事業	女性総合相談、カウンセリング、女性に対する暴力相談の実施
②	男女共同参画に関する資料の情報提供	図書・ビデオの貸出、他自治体の情報収集
③		

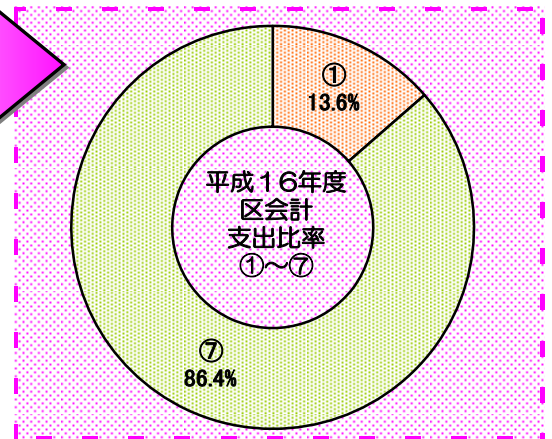
その他背景・他の自治体の状況等

・東京都は東京ウィメンズプラザにおいて、22区も各区女性センターにおいて実施しています。

16年度総事業費 (A+B) 8,351千円



A(a~c)
区会計内訳



A 区の会計内訳 (a~c) 8,351千円

A(a) 国都支出金 (歳入)	0千円
A(b) 区負担分	8,351千円
A(c) 受益者負担 (歳入)	0千円

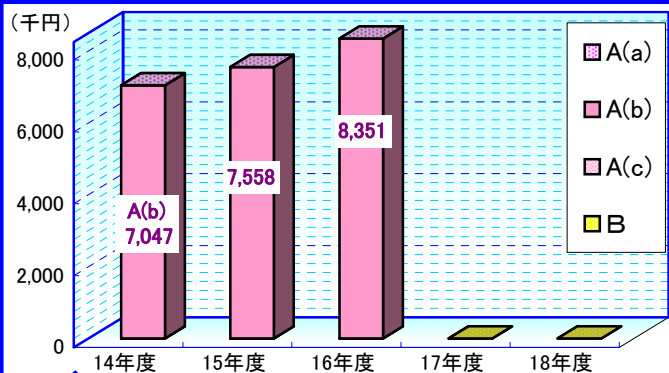
支出内訳 (①~⑦)

① 女性センター啓発講座経費	1,136千円	講師謝礼、会場使用料など
②	0千円	
③	0千円	
④		
⑤		
⑥		
⑦ 人件費	7,215千円	講座企画、実施職員など

B 利用者が事業者等へ直接支払う額

0千円

総事業費の経年変化 (14年度~)



経費は全額
区負担が負担しています。

16年度の	ア 常勤職員	0.6人
	イ 非常勤職員	1.0人
	ウ 臨時職員	

講座参加者一人あたりの経費 **13,151円**

経費の説明

参加者数は企画講座により大幅に増減するため、年度により一人あたり経費が異なります。

平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	26	事業名	男女平等に向けた意識啓発講座
-------------	----	------------	----------------

所属名	子ども家庭部 児童女性課 女性センター
------------	---------------------

所 管 課 長 評 価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備 考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。			○			
2	目的を達成するために他の手段がある。		○				
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。			○			
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。				○		
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		○				
8	民間委託の可能性はある。		○				
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。		○				
10	経費を削減できる可能性がある。			○			

所 管 部 長 の 意 見

男女共同参画社会づくりを推進するにあたり意識啓発は基本的事業である。広く意識啓発を図るには対象は講座参加者にとどまらず、事業者・地域団体へと拡げる必要がある。そのためには、講座内容、開催時間にも工夫し、また、将来的にはNPO、自主サークルや地域団体との協働も視野に入れて講座を考えていくことが望ましい。

平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	26	事業名	男女平等に向けた意識啓発講座
-------------	----	------------	----------------

所属名	子ども家庭部 児童女性課 女性センター
------------	---------------------

外部評価委員会評価

そう思う ← → そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。				○		
2	目的を達成するために他の手段がある。		○				
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。			○			
4	事業の成果を上げている。				○		
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。			○			
6	受益者負担を検討する必要がある。		○				
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		○				
8	民間委託の可能性はある。		○				
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。		○				
10	経費を削減できる可能性がある。		○				

外部評価委員会の意見

- ・男女平等や共同参画、また、女性センターの役割の周知が不十分である。
- ・DV(ドメスティックバイオレンス)が社会的に問題となっているが、区は講座の企画内容を工夫するなどして、夫やパートナーからの暴力を予防できるように区民への意識啓発をしっかりと行ってほしい。
- ・経費の中で人件費(7,215千円)の割合が少し高いのではないか。効率的な事業運営をしてほしい。
- ・15年度に比して16年度の参加人数が減っている。講師によって差が生じるというのであれば、謝礼が多少高額であっても、集客力のある著名人に依頼するなどして参加者を多くするべき。その方が一人あたりの経費も低くなり、効率的な効果を期待できるのではないか。
- ・出席率を高めるために、参加費を徴収してはどうか。
- ・成果指標に、相談件数を用いてはどうか。